

「神を主とし、隣人を愛する」

～グローバルな宣教で共に成熟を目指して～(バングラデシュ・インド編)

今年度の講師は、バングラデシュとインドで包括的宣教の働きに長年従事して来られた柳沢美登里氏をお招きします。今回の講座は、チャペル時間の2回のセッション(火曜と水曜のチャペル時間を特別に10分延長して実施します)と夜のセッションの全3回で構成されています。夜のセッションはインフォーマルな雰囲気の中でじっくりと考え議論する機会にしたいと願っています。すべてのセッションで英語通訳が付きまます。これからの世界宣教のあり方を共に考えていく貴重な機会ですので、奮ってご参加ください。

国際宣教センター長 篠原基章

講師：柳沢美登里



世界が激動する中、キリスト者が参与する「神の包括的宣教」に必要なことは、1) グローバルな社会で神が導く歴史の流れを見極め、2) ローカルな人々と出会い、隣人として神の国の種や苗を共有し、3) 自分に与えられた賜物で地域の主の働きに参加し、共に成熟することです。この講演では、バングラデシュとインド社会での宣教体験から、21世紀の「グローバルな神の宣教」について共に考えます。

プロフィール

神奈川県出身。カンバーランド長老教会高座教会メンバー・信徒宣教者。ノンクリスチャン・ホームで育ち、大学生で受洗。東京大学大学院医学系保健学修士修了。米国 William Carey International University 聖書と異文化コース修了。

1990年、日本国際飢餓対策機構からバングラデシュへ派遣。スラムの女性たちのグループでの生活向上活動、96年から現地NGOで農村のアウトカーストの人々の社会生活変革の働きに携わる。2003年からアジア地域の担当。2010年、「声なき者の友」の輪の創立メンバー。原発事故後の福島に関わり、チヨルノーブリ原発事故があったウクライナのメシアニック・ジューとつながる。主にバングラデシュやインドで、福音を包括的また聖書的世界観への文脈化を試みる現地の神の民を励まし、共に学び合うパートナーシップを深める。日本ローザンヌ委員会委員。

6/6(火)	11:20-12:00	大チャペル	セッション① 「時代の変化に寄り添う協働宣教～最貧困を乗り越えるアイデンティティと隣人愛の探求～(バングラデシュ編)」
6/6(火)	19:00-21:00	FCCチャペル	セッション② 「現代グローバル・サウス時代の宣教～多国籍・多民族・多文化・多世代での協働～」
6/7(水)	11:20-12:00	大チャペル	セッション③ 「真の主の弟子として～『神のかたち』の抑圧からの回復～(インド編)」

ご参加希望の方は右記のQRコードよりお申込みください(受講料無料)

お申込締切:6月1日(木)

お問合せ:世界宣教講座委員会 (fcc@tci.ac.jp)

